

# リーブラ便り

2011年10月号 VOL. 29



リーブラのマークは、「男女平等」の願いをこめた「てんびん座（リーブラ）」をモチーフにしています。

## 目次

1. リーブラフェスティバル2012
  2. 芝浦運河まつり
  3. 第2回リーブラ特別展示
  4. 講座案内
  5. 講座報告
  6. その他の報告
  7. 運営協議会
  8. リーブラ相談室
  9. 男女平等参画情報
- ★別紙 10月の新着図書ご紹介

## 1. リーブラフェスティバル2012

平成24年2月25日、26日の2日間に渡り、リーブラフェスティバル2012が開催される予定です。これは、リーブラの二大イベントの1つであり、リーブラ利用者の交流親睦の発展の場であると同時に、リーブラを知らない人達に知ってもらう大切な機会です。リーブラフェスティバル2012は実行委員会のメンバーを中心に港区、そしてリーブラ事務局のサポートをうけながら「つながる」をテーマとし、8月より準備を始めております。

来館者、参加者の多くが楽しめる場を提供できるよう努力していきますので、ふるってご参加下さい。

リーブラフェスティバル2012 実行委員会 委員長 菅 賢太郎

## 2. 芝浦運河まつり

10月2日（日）リーブラは芝浦運河まつりに参加しました。運河まつりは地域の方とスタッフが直接ふれあうことができる貴重な機会としてリーブラは3年連続で参加をしています。

近頃、子育てを積極的に行う男性を「イクメン」、家事を積極的に行う男性が「カジダン」と呼ばれるやりの言葉となっていますが、今年の参加者の特徴として30代、40代のお子さん連れの男性の姿が多かったように思います。



時代の変化を感じつつ、参加者のみなさんに男女平等に関するアンケートにお答えいただきました。アンケートは約570枚回収。リーブラを知らないで利用したことがないが24%で昨年とほぼ同じですが、スタッフと顔見知りの方や「昨年もアンケートに答えた」という方もいらっしゃる、少しずつではありますが、お祭りに参加することが地域での根付いた活動の一つになっていることが実感できました。「女性・男性にこだわらず一人ひとりが豊かに生きられる社会になってほしい」は9%上昇。個を大切にしながら、豊かに生きていきたいという思いが強くなってきているようです。

## 3. 第2回リーブラ特別展示「女性に対する暴力をなくすため、わたしたちにできること」

**作品募集！**「災害・女性・人権 リーブラからのメッセージ〜」に展示する作品を募集します！

- 作品受付期限 10月28日（金）必着
- 条件：「女性に対する暴力の根絶」をテーマとした作品。団体の活動として作製したもの。思いを込めた作品や女性に対する暴力根絶の活動紹介のポスターなど…。どんなものでも結構です。詳しい応募条件・申し込み方法などは事務局へお問合せください。

## 4. 講座案内

### 第2回リーブラ特別展示

「女性に対する暴力をなくすためわたしたちができること  
～災害・女性・人権 リーブラからのメッセージ～」

11月12日～25日は「女性に対する暴力をなくす運動」週間です。2011年3月11日の東日本大震災以降、様々な問題に私たちは直面しています。そのような中、女性、子どもなど社会的弱者に更に負担がかかることを感じざるを得ません。みんなが生きやすい社会へ向かって、何が必要なのかを共に考え、つながり、行動しましょう。リーブラ登録一般団体・男女平等推進団体・関連施設・団体の活動紹介や作品展示を行います。リーブラからのメッセージを是非受け取ってください。

■展示期間：

11月12日(土)～25日(金)

最終日16:00時まで

■会場：3階 学習室E

### ●ふらっとリーブラ11月 話そう！つながろう

■日時：11月18日(金)

13:00～15:00 予約不要

■会場：3階 学習室E

■保育：要申込 保育申込締切  
11月4日(金)

展示について、東日本大震災後の今について、女性に対する暴力についてなど思っていること、考えていること、参加者の皆さん・リーブラコーディネーターと、展示された作品を見ながら、お話ししてみませんか。



第1回展示の様子

### ●みんなでつくろう！

パープルリボン

■日時：10月21日(金)～

11月25日(金) 予定

■会場：3階 交流コーナー

大きなひとつのパープルリボンをみんなでつくろう！紫色の紙を折ったり、メッセージを書いたりして、自由な発想でみんなでパープルリボンを作りましょう。

### パープルリボンってなあに？

パープルリボン・プロジェクトは、国際的な女性に対する暴力根絶運動です。

パープルリボンをモチーフにした作品やリーブラのテーマカラーでもあるむらさき色を使った作品を多く展示します。



昨年度出展作品

『愛のパープルリボン』

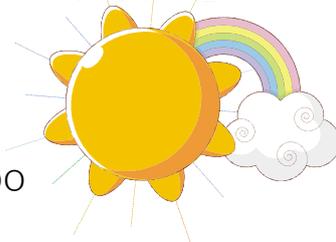


### リーブラ主催講座

セクシュアル・マイノリティ講座

「学校と災害の中の

セクシュアル・マイノリティ」



■日時：11月12日(土)

13:30～16:00

■会場：4階 集会室3

■講師：“共生社会をつくる”セクシュアル・マイノリティ支援全国ネットワークより  
ミナ汰さん、宇佐美翔子さん

■内容：日常や災害の中で、さまざまな属性を持つ人たちが、互いに尊重し合い、共に生きていく社会をどのようにつくっていったらよいのか。こうした問題を共有するために、今回はセクシュアル・マイノリティの視点から見えてくる課題を話していただき、参加者の方との意見交換を行います。多様な性・生が尊重される社会に向けて、一緒に考えてみませんか。

■参加費：無料

■対象：どなたでも

■申込：電話・FAX・メール・窓口にて

■保育：あり・無料

※要予約(1歳から未就学児まで)

保育申込締切:10月28日(金)

### リーブラ主催講座

災害と女性・人権 リーブラシンポジウム

「福島の女性たちの現状と課題」

■日時：12月3日(土) 13:30～17:30

■会場：5階 ホール

■内容：

第一部 全国女性相談研究会による報告  
「福島県の女性支援」

第二部 竹信三恵子さん講演

「被災下での女性支援はなぜ必要か」

第三部 パネルディスカッション

■パネリスト：竹信三恵子さん

全国女性相談研究会メンバー

■参加費：無料

■対象：どなたでも

■申込：電話・FAX・メール・窓口にて

■保育：あり・無料

※要予約(1歳から未就学児まで)  
保育申込締切:11月18日(金)



・全国女性相談研究会：DV被害者支援に取り組んできた被害者支援団体代表、弁護士、助産師、カウンセラーなどが結成。震災直後から福島県内外の避難所や仮設住宅を訪れ、女性や子どもの相談、環境改善要求、物資提供などの支援を行っている。

・竹信三恵子さん：東日本大震災女性支援ネットワーク共同代表。和光大学教授。元朝日新聞記者。

## 5. 講座報告

### リーブラ主催講座

「ふらっとリーブラ9月～産後ママが自分を大切にできる時間の巻～」



リーブラが課題の一つとする子育て世代支援の取り組みとして、NPO法人マドレボニータの高橋さんを講師に招き、3歳未満の子どもを持つ産後ママを対象にした「ふらっとリーブラ」を行いました。当日は8人（うち赤ちゃん同伴2名、保育5名）の参加がありました。

簡単な身体ほぐしの後に、日常の中で大切にしていることや自分の思いを振り返るペアワーク、グループでのシェアワークがリラックスできる雰囲気の中で行われました。

初めてリーブラの講座に参加した方が8人中5人で、アンケートでは「自分の気持ちを話したり聞いたりして、自分の気持ちが軽くなったような気がします」「参加して楽しかったです」などの声があり、満足度も高いものでした。

「保育つきでテーマに沿って話がいっぱいできる講座があればうれしいです」「子育て中のママ向けの講座にまた参加したい」という声があり、こうした事業が必要とされていることを実感しました。今後も工夫して、リーブラならではの企画に取り組んでいきたいと思ひます。

### 学習活動支援事業

「リーブラでの会議の仕方を学ぶ」

主催：醍醐

9月8日と15日に、講座「リーブラでの会議の仕方を学ぶ」を開催しました。この講座の目的は、会議への理解を深め、会議を上質なものにすることを通して、リーブラを良くすることです。

二日間の学習を通して、参加者は「会議は協働作業である」ことを学びました。会議とは、先に考えた結論に誘導していく場ではなく、相手を論破する場でもありません。皆が知恵を出し合い、最善の結論を目指すことが会議なのです。そのために必要なのが、「皆で一つの作品を作っていること」「他者の意見を正確に理解すること」という意識です。この講座において、それぞれを学ぶことができました。

学習の機会を与えてくださった全ての方に感謝したいと思います。

醍醐：長 帯巽

## 6. その他の報告

### 防災対策についての提案

毎年、6月の男女共同参画週間を記念して実施されるフォーラム。男女平等推進団体が主体となって問題提起や啓発事業が行われますが、昨年のフォーラム実行委員会企画運営委員会では「私たちの危機管理」という展示企画が行われました。

この展示企画の結果を基に、委員会は港区地域防災計画課に～「私たちの危機管理」報告書/災害対策についての港区民からの提案～がなされました。

アンケートから見える区民の生の情報、被害の実体験など貴重な情報が報告されました。また、行政の備蓄品に対する提言（6ヶ月乳幼児用避難セット、1歳児の避難セット）もされています。

とりわけ、リーブラの存在を特徴つける提案は「防災にはジェンダーの課題を施策に取り込む」点といえます。（報告書からの抜粋）～女性には特有のニーズ「妊娠中、授乳中、生理、婦人科疾患、トイレ、プライバシー」があり、被災時には全体が保守化し、性別役割分業を妥当とする意識に強く支配されやすいため、

災害時には女性の労働負担が増えることが多い。そのため女性の生活再建が遅れがちになり、女性が将来にわたって多く犠牲になり、女性の人権が守られにくくなる。男性の視点で構築されてきた防災、災害復興分野の見直しをする。港区において、平常時だけでなく、災害時、復興時においての、政策決定や意思決定、運営を行う場に、必ず女性が参画することを徹底させることを求める。また、情報弱者、多様なニーズを持つひとびとに対して、きめ細かい情報提供を行うことを求める。～と括られています。

提案書の閲覧を希望される方はリーブラまでお申し出ください。

### フォーラム2012スタート

2012年のフォーラムはすでにスタートしています。10月24日には第1回フォーラム企画運営委員会が開催され、13人の委員により、準備がスタートします。

男女平等に対する皆さんの問題意識が人々を動かし、社会を変えていく一歩となるよう協働していきましょう。

### アサーティブ・フォローアップの会 勉強会報告



今年5月、6月開催の「女性のための家族を変えるコミュニケーション」講座の終了後、受講生有志によって結成された「アサーティブ・フォローアップ会」の継続勉強会の報告です。講座で学んだことを日常生活に活かそうとグループで活動されています。会の皆さんの声をご紹介します！

●自分と相手を尊重する自己表現とは？アサーティブネスを日常生活の中で活用するために発足いたしました。まだスタートしたばかりです。

●私は、自分の感じた気持ちを大切に意識するようになり、思い込みから解放され、気持ちに余裕ができ、楽になってきました。

●こんなに人とのコミュニケーションって簡単だったんだー。私は色々考えすぎていました。この技を忘れないために、この会は私の助けになっています。

●私は、周囲との良好な関係を築く「自己表現」を学びました。言い方のスキルと同時に、そこに気持ちを向ける「大切さ」を感じています。

## 7. 運営協議会

### 運営協議会委員より

タマゴとニワトリ

ヒナが誕生の時期を迎えると、外側からは親鳥が、内側からはヒナがカラをつつき、協働のもとヒナは誕生する。誕生の時期を誤ればヒナは死ぬ。

私はリーブラ利用者によるリーブラの自治を望んでいる。運協で指定管理者が出してくる方針も、方向性は一緒のように感じるが、実際に行う段になると利用者の力を削ぐ方向へと動くように感じる。近頃、その違和感は利用者としての「当事者性」の有無に基・起因しているのではないかと考えるようになった。既に利用者はそれほど無能ではない。港区民だけが、劣っている理由はない。

利用者の自治へ向けての協働はできないものだろうか？開かれた運営はできないものだろうか？運協でいつも私は考える。いつか、カラは破らなくてはならない。

運営協議会委員 あい宏枝

### 平成23年度 第6回運営協議会

10月13日、運営協議会が開催されました。

【議題】

- (1)報告事項  
 ①9月の事業報告  
 ②フェスティバル2012進捗状況  
 ③フォーラム2012について  
 ④交流懇談会について

(2)協議事項

- ①新リーブラについての検討  
 (展示スペース)

(3)その他

平成26年に完成予定の新施設では、現在のリーブラよりも、かなり広い場所が展示スペースとして使える予定です。リーブラの事業として情報発信は重要課題です。リーブラがどんな館であるのか、どんな活動をしているのか、どんな団体があるのか、来館者にご理解いただき興味をもってもらえるよう展示スペースを有効に活用していきたいと思っております。みなさまからもアイデアがありましたら、事務局までお寄せください。

## 8. リーブラ相談室

心のサポートルーム便り

警視庁が平成23年8月に発表した「月別自殺者数」によりますと、東日本大震災で自殺者数が急増していましたが、7月に入ってから、前年7月と比較して初めてマイナスになりました。しかし、女性の自殺者は依然として前年7月を上回りました。統計から自殺の原因は直接的には見えてきません。しかし、リーブラの相談室では、4月～9月の6カ月間で、女性の相談者が前年同期間と比較して14%増加しました。また、この半年間の相談で顕著に増えているのが、DVと夫婦（各12%増）の相談です。震災以降、家庭の中で深刻な悩みを抱える女性が増えていることがうかがえます。

### <開室曜日・開室時間>

火曜日 16:00～20:00  
 水曜日 10:00～16:00  
 金曜日 10:00～16:00  
 金曜日 18:00～21:00

**03-3456-5771 (専用)**

※ご予約やお問い合わせも  
 専用電話にご連絡ください。

## 9. 男女平等参画情報 ～川柳と男女平等～

「別々の心で同じ飯を食ひ」「座布団に似し運命を女もち」。これは、大正期に女性としては初の川柳の句集である『井上信子句集』（1926年）を出版し、川柳界で初めて女性の会を結成するなど、近代女性川柳家の道を拓き、「川柳の母」と称される井上信子（1869～1958）の作品です。

井上は、大正5（1916）年から大正12（1923）年の関東大震災で焼け出されるまで、芝区（現在の港区）に在住していました。前述した彼女の第一作目の句集は、そのほとんどが港区在住期の作品です。彼女は、当時の日本社会における対等ではない男女関係へのわりきれない思いや、苦しみ、怒りを女性の立場から数多く詠んでいます。「感情の爆弾妻が近似的」（1934年）などにも、DVに対する鋭い批判精神が表れています。

現在、リーブラでは、男女平等に関する川柳を募集しています。夢や希望を語ってもよし、日頃のもやもやを振り返ってもよし、怒りや苦しみをシャウトしてもよし、今の気持ちを5・7・5に凝縮してみませんか。「男はこうあるべき」「女はこうあるべき」といった、私たちの社会に根強く残る性別役割分担意識やそれに基づく習慣を、ユーモラスに、または鋭く表現してみましょう。締切は10月28日（金）です。一人五句まで投稿できます。皆様のご応募をお待ちしております。



男女平等参画センター「リーブラ」3～5階

発行元	港区立男女平等参画センター リーブラ
住所	〒108-0023 港区芝浦3-1-47
TEL	03-3456-4149
FAX	03-3456-1254
HP	<a href="http://www.minatolibra.jp/">http://www.minatolibra.jp/</a>
施設利用時間	月～土曜日 9:00～21:30 日曜日 9:00～17:00 * 祝日はその曜日に合わせての開館となります。
窓口受付時間	月～土曜日 9:00～20:00 日曜日 9:00～16:00

発行日：2011年10月20日